

# 雷電山砦（らいでんやま とりで）



北東側ゴルフ場から見た城址

やぶづかおんせん きりゆうしひろさわ む けんどうやぶづかきりゆうひろさわせん みなみがわ  
藪塚温泉から桐生市広沢に向かう県道藪塚桐生広沢線がすぐ南側を  
とおるはちおうじきゆうりょう かなやまじょう でしろ  
通る八王子丘陵にある金山城の出城です。

やぶづかおんせん す ひがし み ひょうこう いち ちやうすやまとりで  
藪塚温泉の直ぐ東に見える標高190mに位置し、茶臼山砦からは  
なんほう きより  
南方1.5kmの距離にあります。

とりで ほうせいほうこう てき うえすぎし たけだし かが  
この砦は、北西方向からの敵（上杉氏や武田氏が考えられます）が  
せ かなやまじょう ゆらし つた もくてき  
攻めてきたときに、金山城（由良氏）にそのことを伝える目的で  
た  
建てられました。

てき せ じょうほう しかだやまじょうさいぐん ちやうすやまとりで はちおうじやまとりで  
敵が攻めてくる情報を、鹿田山城砦群⇒茶臼山砦⇒八王子山砦⇒

らいでんやまとりで まるやまとりで かなやまじょう のろし し ゆらし  
雷電山砦⇒丸山砦⇒金山城と狼煙リレーで知らせるための由良氏の  
のろしだい  
狼煙台だったのです。

とりで ちゆうとはんば きほ ちい よこほり いしがき  
しかし、この砦には中途半端で規模は小さいものの横堀、石垣  
そんざい た とりで こと  
がちゃんと存在しているので、他の砦とは異なります。